



# きずな

## チャレンジリーグEブロック

チャレンジリーグEブロックは、元町北、フォーザSC、平岡中央、FCリベルタ栄町、伏古北FC、豊園、福井野、YFCの8チームで行いました。

Eブロックの指導者の方々は、皆さんメンバーズファーストの精神でとても協力的・友好的にリーグを運営することができました。その中で選手たちは、リーグ全節を通して、伸び伸びと、そして着実に成長をしてくれたと感じております。

優勝は、フォーザSC（写真）になりました。フォーザSCの選手は、一人一人の技術が高いレベルであって、尚且つイマジネーションの豊かさにも目を見張るものがありました。そして、試合前後の挨拶や握手を大切にするフェアな態度もさすがなところでした。



また、試合を応援・運営していただいた各チームの保護者の皆様のご協力にも大変助けられました。観戦マナーについても審判をリスペクトしていただき、選手への温かい声援を送っていただきました。その結果が選手たちの大きな成長に繋がったことは間違いのないと感じております。

来年度もメンバーズファーストを第一に考えて、指導者、保護者が一体となりリーグを運営していけるよう、ご協力の程、宜しくお願い致します。

# アンビシャスリーグCブロック

アンビシャスリーグCブロックは、アプリーレ札幌U12、西園、クラブフィールズU12、北郷瑞穂、真栄、手稲鉄北、AGGRE U12、札幌藻南FCの8チームで戦いました。各チームとも6年生がよく声を出し、それぞれのチームの持ち味を発揮して、活気あるリーグ戦となりました。



優勝はクラブフィールズU12。

前線にスピードのある選手がいて、中盤でボールを動かしながら、背後を狙う攻撃で試合の序盤から点数を取りに行き、前半から点差がつく試合が多かった。また、守備も前線からのプレスで、より高い位置でのボール奪取が多く、その点も得点数に影響していた。長いリーグ戦を通して負け無しの勝ち点38を獲得し、堂々の優勝でした。惜しくも



も準優勝となったAGGRE U12は5年生FWのスピードを活かした背後へのボールで何度もゴールチャンスを作っていました。また、チームワークも良く、試合に出場する選手、ベンチの選手が一丸となり試合に臨んでいました。5年生が攻撃の起点となるが多かったため、来年が楽しみなチームでした。



最終結果はクラブフィールズU12とAGGRE

U12が最終日を待たずに昇格を決めました。リーグ戦を通して各チームに点差ほどの差はありませんでした。特にリーグ戦2週目になると各チームの特徴が濃く出てきてとても見応えのある試合が多かったです。

試合会場も東雁来グラウンドと江別美原グラウンドでの各日程2面コートでの運営だったので、ピッチ環境や拘束時



間の短縮などで、選手達には良い試合環境でサッカーをさせてあげられたと思います。会場準備も全チームで協力し、スムーズに試合が始められ、会場使用や駐車台数等でのトラブルもなく、円滑にリーグ戦を運営することができました。

リーグの運営にあたり、参加チームの指導者・保護者の皆様のご協力により、円滑に進みましたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

